

1. 策定の趣旨と見直しの視点

〇道では、当面、取り組むべき経済施策の方向性を示すため、昨年8月に「本道経済の活性化に向けた基本方針」を策定。
〇新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた本道経済の再活性化に向け、今般、「基本方針」を改定。

(1) 感染症による経済・雇用への影響

- ポイント
① サービス業中心に、需要消失による売上大幅減
② 影響長期化による倒産や廃業増への懸念
③ 全国的には拠点の一極集中によるサプライチェーンの毀損や事業継続リスクの顕在化

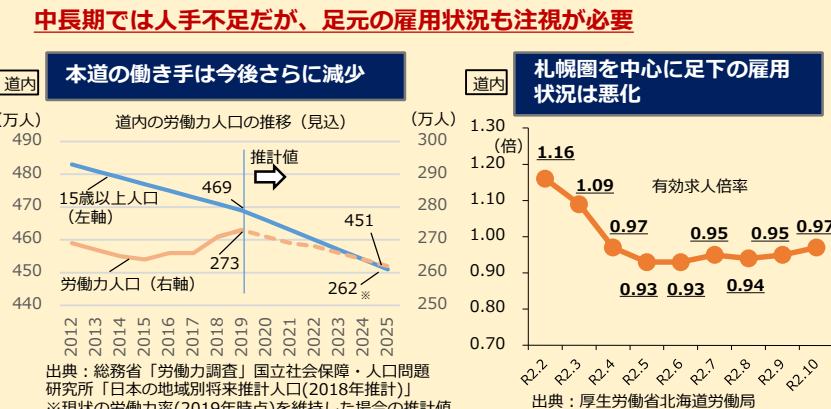
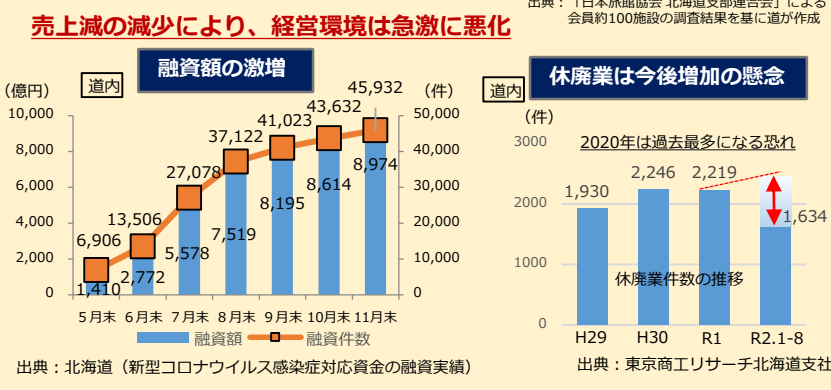
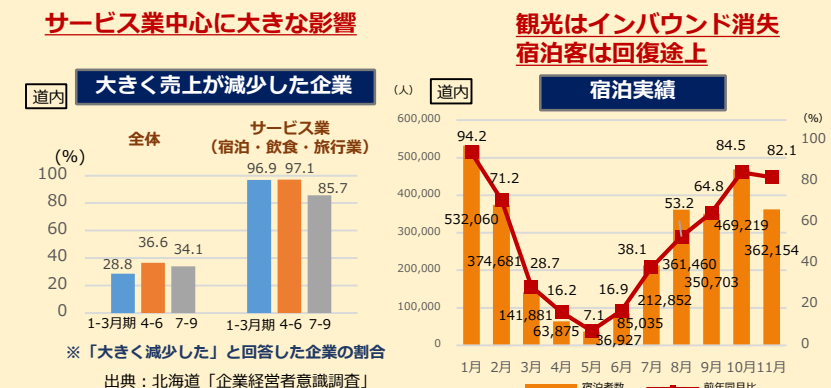


Table showing '首都圏一極集中に変化' (Change in concentration in the capital region) with data for Tokyo's outflow from July to October. It notes that Tokyo's outflow has exceeded previous years for the first time.

(2) 感染症による社会経済の変化

～変化への対応を再生への原動力に～
3密回避による新たなビジネススタイル・ライフスタイルが急速に浸透
① 非接触、非対面スタイル
② 需要減、稼働率減での売上・収益確保



(3) 改定の考え方

- ① ウィズコロナ対策
感染症の長期化を見据え、多様な視点で事業継続や雇用対策を展開。
② ポストコロナを見据えた対策
本道の優位性を活かし、社会経済の変化で生じる新たな需要を取り込み、経済の再活性化に挑戦。

ウィズコロナ・ポストコロナ時代の経済施策として、「基本方針」を改定。

2. 施策の柱立てと主な取組

Table with 4 main sections: ① ウィズコロナの長期化を見据えた中小・小規模企業の維持・継続等, ② 北海道ブランドの発信力のパワーアップ(食や観光産業の活性化), ③ ポストコロナを見据えた新たな社会経済の変化への対応力強化, ④ ポストコロナを見据えた人材の育成・確保. Each section lists key strategies and main measures across various industries.

・各施策の掲載順は施策全体の流れを考慮して整理したもので、施策としての優先順位ではありません。